

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	2
事業名	狂犬病予防対策経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	4
施策	4 快適なまち	課名	環境防災課		
	4-2 良好な生活環境のまちをつくる	係名	環境資源係		
	4-2-1 環境衛生対策の推進				
主要施策	④動物愛護と適正飼育				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	犬の飼い主	目的 (対象がどのような状態になっているか)	狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、畜犬登録を行い予防接種率の向上を図り、環境被害のない健全な生活環境を作る。
事業内容	狂犬病予防法により、狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、犬の飼い主に義務付けられた犬の登録と予防接種率の向上を図り、注射済票の交付を行ない、環境被害のない健全な生活環境を作る。また、畜犬所有者の転出入者の取り扱い、各市町村・保健所からの照会への対応、原簿登録の管理を行っている。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
指標	1	登録頭数に対する注射済票の交付率(接種率)	89	97	88	%	↑	90	
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B					786	2,624	4,548		
財源内訳	直接事業費 A				786	776	2,700		
	うち一般財源				0	0	1,374		
人件費 (千円) B					0	1,848	1,848		
内訳	一般職員 (人・千円)				0	0.28	1848	0.28	1848
	臨時職員 (人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	登録・狂犬病予防注射をしていない飼い主に対して登録義務及び注射の実施について周知徹底を図る。また、昨今苦情が増加している猫の飼育について、自治会、動物病院、保健所等関係機関と協力しながら、飼い方のマナー向上等周知啓発を行う必要がある。
②R1年度に実施した取り組み	狂犬病予防法に基づき4月に集合注射を実施。7月より、飼い主のいない猫に対し、TNRの実施。	④今後の改善計画	自治会、動物病院、保健所等と協力し、未登録、未接種犬の防止に努める。野良猫の増加防止のため、新たにTNR事業を実施します。避妊去勢補助については、野良犬野良猫の防止にも繋がり、一旦、終期設定は行うが、引き続き継続します。